

東京都

氏名 岩田純一（いわた よしかず）

（満36歳 昭和58年1月10日生）

## 1 推薦の理由

岩田指導教諭は、東京都小学校体育研究会の体づくり運動領域、多様な動きをつくる運動（遊び）部会において、5年間正副部長を務めた。また、その間、全領域の部長が集まる正副部長会でリーダーシップをとり、東京都全体の研究を推進してきた。

平成29年度からは指導教諭として、年3回模範授業を公開しており、小学校体育の指導教諭の中で最も参観者を集めている。模範授業は、体づくり運動領域のみならず、様々な学年や運動領域で行い、豊富な知識と実践力を発揮している。多くの授業参観者からの要望で体育学習会を月1回開催し、実技や座学を通して、体育授業の在り方を広め、後進の育成にも努めており、本指導教諭の実践が、都内の数多くの学校で生かされている。

以上のことから、被推薦者は、研究の推進、授業実践の両面から優れた教員である。

## 2 被推薦者の「体育授業」の特徴、指導効果、その成果の汎用性、成果を証明する資料等

岩田指導教諭の授業の特徴として、児童のやる気を最大限引き出し、児童の活気ある授業展開が挙げられる。運動の得意、不得意関係なく、児童が意欲的に学ぶ姿は圧巻である。3つの資質・能力をバランスよく育むための単元を通じた教師の手だてが緻密で、学びに向かう力、人間性等へのアプローチを出発点とし、思考力、判断力、表現力を耕して伸ばし、結果として知識・技能の定着につなげている。

その授業力が注目され、他学級や他校でも授業を行い、担任をしている学級のように、児童を引き付ける授業を構築・展開する力もある。

これまで数々の授業実践事例を資料として発行しているが、「単元を通じた教師の言葉掛け例集」「運動（遊び）例集」「授業ヒントシート～よい動きの花～」は、現在、多くの教員の指導の貴重な資料となっている。運動の特性や単元を通じた指導のねらいを明確にした上で、精選された言葉掛けや支援を繰り返し、学習を効果的に積み重ねていくという内容は高く評価できる。例えば、教師からの称賛を基本とし単元の序盤は、児童がもつ

運動意欲を引き出すために、技能下位の意欲上位の児童にスポットを当てる。単元の中盤は、できるようになりたいという意欲をもたせ、児童同士で見合い伝え合う姿を大切に、思考を活発にさせる発問や提案を繰り返す。次に、できるようになるために考え、伝え合う児童にスポットを当てる。単元の終盤では、運動ができるようになるために欠かせない技能ポイントを押さえ、技能上位の児童にスポットを当てる。意欲的に学ぶ姿、考え伝え合って学ぶ姿を引き出し、結果として技能の定着を図る指導展開は、単元を通じた形成的授業評価でも効果的な成果が表れている。この資料等は東京都小学校体育研究会ホームページ、体づくり運動領域部内にも掲載されている。

## 3 公的な大会・研修会等で発表した授業実践や講習会の講師を務めた講習内容等の概要

平成26年東京都小学校体育研究会において、第1学年体づくり運動、多様な動きをつくる運動遊び（墨田区立業平小学校）の実証授業者として授業を公開した。

平成27年東京都小学校体育研究会区部発表大会において、第3学年体づくり運動、多様な動きをつくる運動（中央区立泰明小学校）の授業者として授業を公開した。また、東京都教職員研修センター専門性向上研修において、第3学年体づくり運動、多様な動きをつくる運動（墨田区立業平小学校）の授業者として授業を公開した。

平成28年東京都開発研究委員において、第5学年ボール運動、ゴール型バスケットボール（豊島区立目白小学校）の実証授業者として、いわゆる「導入」の授業を公開した。

また、東京都教職員センターや、各区市の体育部から依頼を受け、授業を公開したり、年間10回以上の講師を務めたりしている。講習内容は実技研修、模擬授業、講義など多岐にわたる。

## 4 勤続年数 13年

## 5 職歴

平成18年 新宿区立落合第三小学校 教諭  
平成26年 墨田区立業平小学校 主任教諭  
平成29年 墨田区立業平小学校 指導教諭